

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

第36回若手会員の会 運営委員会報告

若手会員の会運営委員会委員長 佐藤 裕 (東北大学)

Minutes of the 36th Meeting of the WELNET Steering Committee

去る4月19日、溶接学会全国大会の開催に合わせて、若手会員の会運営委員会を開催しました。運営委員同士の自己紹介に続き、昨年度の会計報告、活動状況の確認、今年度の活動計画について議論が行われました。以下に会員の皆様にも関連する事項についてご報告申し上げます。

日時：平成19年4月19日(木) 11:50～13:00

場所：(財)日本教育会館 7階 704会議室

出席者：委員長、副委員長ほか運営委員 計13名

1. グローバルネットワーク形成委員会 (GN委員会) への支援

特に東南アジア地域を対象とした国際的な情報交換や人的交流あるいは活動の場を形成するためのグローバルネットワーク形成プロジェクトが溶接学会に属する若手メンバー主体で活動中です。これまで、このプロジェクトに対して当会が全面的に支援しており、今年度は以下のシンポジウムが開催予定であることが報告されました。

- ・第3回日韓若手溶接研究者合同シンポジウム
(2007年5月10日、韓国・ソウルにて)

今後も継続して、このセミナーへの人的支援等を継続することが確認されました。

また、日本溶接協会の国際活動委員会の中に、アジア溶接連盟(AWF)会議時に併設されてきた若手研究者シンポジウムを主催する1ワーキンググループ(WG)が発足される見通しであることが報告されました。今後、

このWG、当会およびGN委員会の立場、役割、活動内容について審議する必要があるかと思えます。ご協力をお願い申し上げます。

2. ホームページの外注について

当会ホームページのレイアウト/内容等の素案について承認いただき、正式に更新されることとなりました。

3. 今後の活動予定について

次回秋季全国大会のイブニングフォーラムは、恒例の「若手の研究ポスターセッションと交流会」で進めることとなりましたが、他の良案が発案された場合には、運営委員会メーリングリスト上で議論することとなりました。また、「若手の研究ポスターセッションと交流会」を実施する場合は、優れた発表に対して今年もポスター発表賞を贈呈することとなりました。

見学会として、Spring 8を訪ねる計画を進めることとなりました。

基礎セミナーおよび勉強会については、継続審議事項となりました。

継続審議となった案件について、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。当会は「楽しく参加できる会」を目指しており、さらなる活動の活性化のため、運営委員会では常に新しい力の参加を求めています。

今後も若手会員の会に幅広いご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。